

令和7年度 第1回「松阪市地域公共交通協議会」議事録

日時：令和7年6月18日（水）13時30分～

場所：松阪市産業振興センター2階 人材育成講座室

【出席委員】 藤田素弘、山本勝之、塚本麻衣、川口正人、黒川尚哉、森本臣紀、豊田智隆（代理）、
下川忠幸、鳥田茂、松尾容子、奥田信幸、中村豊子、森慶之
岡田明（代理）、藤田卓文（代理）、浅田昌博、鈴木英之、大島威、岡田久

【欠席委員】 古賀稔念、田替藤潤子、森下芳郎、杉本久弘

【事務局】 商工政策課 課長：川上健一郎 係長：真澄純子
主任：八木甲太 係員：阿部玲弓

《協議》

(1) 令和6年度実績について

- ・松阪市コミュニティ交通利用実績（報告）：資料1
- ・松阪市地域公共交通計画実績評価（報告）：資料2
 - ・三重交通路線松阪営業所管内利用実績（報告）：資料3
 - ・地域公共交通確保維持改善事業の二次評価の結果（報告）：資料4
 - ・令和6年度決算（報告）：資料5

(2) 令和7年度の取り組みについて

- ・令和7年度予算（協議）：資料6
- ・令和8年度補助分地域公共交通計画認定申請について（協議）：資料7

(3) 飯南地区再編事業について（協議）：資料8

- ・飯南地区コミュニティバス「ほほえみ」ダイヤ及びルート：資料8-1
- ・「交通空白」解消緊急対策事業：資料8-2
- ・三重県交通不便地域等移動手段確保総合対策補助金：資料8-3

(4) 夏休み松阪市営バスフリーライドキャンペーンについて（報告）：資料9

(5) 松阪駅前デジタルサイネージの設置について（報告）：資料10

(6) 松阪市公共交通支援出資事業について（報告）：資料11

《協議内容》

(1) 令和6年度実績について

(事務局：資料1～資料5について説明)

委員：物価上昇が言われている中で、年間運行経費が下がっている路線がありますが、この理由を教えてください。

事務局：黒部・東、機殿・朝見、嬉野地区のコミュニティバスの運行経費が若干下がっています。黒部・東、機殿・朝見に関しては入札の関係です。嬉野地区は追車費用を契約内に盛り込んでおりまして、追車の実績に応じて清算するものになっております。利用者数が微減しておりますので、追車分で経費が下がっていると考えられます。

会長：経費は全体的にみると上がっていますが、人件費や燃料費の関係ですか。

事務局：人件費と燃料費が増加傾向にあります。

会長：資料4の二次評価は良い評価をいただいております。乗り継ぎのことをあまり議論したことがないと思いますが、意識してダイヤ作成をしていますか。

事務局：山間部の三重交通との乗り継ぎは意識していますが、市街地は鉄道との接続は難しいです。本数も多く、どの時刻に合わせるかというのがありますので、最も便数が多くなるような設計となっております。乗り継ぎ割引などで乗り継ぎ促進をしていきたいと考えておりますが、ダイヤ設計においては考慮するのは難しくなっております。

会長：資料2の鉄道の実績ですが、コロナ前に比べて戻りが悪く、もっと伸びてもいい気がしますが、この原因はわかりますか。

委員：伊勢中川・松阪管内では周辺人口の伸びの良くないので利用は少ないです。都市部では観光客も戻ってきておりますので、全体の数字では上がってきています。

委員：名松線の利用はコロナ禍と比べると若干改善していますが、コロナ前と比べると下がっている傾向がずっと続いています。

会長：車利用が増えて利用者が減っているのかと思いますが、鉄道駅の利用者が増えないと市内バスの利用者も増えていかないと思います。

委員：飯高のことですが、買い物や通院ではなく、個人の家に行きたいという人がいます。

事務局：令和6年度よりデマンド交通が運行しまして、バス停までバス停までを予約制で利用できるものになっています。公共交通で個人のお宅など隔々まで網羅するのは難しいので、デマンド交通とプラスアルファで地域の方での助け合いを検討いただくということをお願いします。

会長：報告事項なので、採決は取らずこれで終わります。

(2) 令和7年度の取り組みについて

(事務局：資料6,7について説明)

委員：乗客や車の流れは1年で変わります。その中で今コミュニティバスのダイヤは何も変わらずに運行しており、やはり変えていくべきだと思います。ダイヤの見直しは毎年していくべきだと思いますが、せめて3年くらいでしていくべきです。鈴の音バスのお客さんの流れの状況は、通勤通学を除けば、毎朝9時くらいから買い物・病院に行かれて、11時~1時に帰られます。夕方になると減っていて、夜はほとんどお客さんがいないという状況です。削れるところは削って、予算を削ればだいぶ変わってくると思います。三重交通が10月にダイヤ改正をしますので、それに合わせて改正していただければ助かると思います。乗務員不足でこのまま走らせるのも厳しい状況になっております。

事務局：鈴の音バスは全線、三重交通に委託させていただいておりますので、ご意見も頂戴しながら相談させていただきたいと思います。各地域のコミュニティバスにつきましても、それぞれ運行協議会で地域からご意見をいただきながら進めておりますので、検討していきたいと思います。

委員：運行にあたって市から多額の負担をしていますが、今後赤字が続くと廃線や路線の縮小になる可能性もありますか。

事務局：金額のラインを設け、超えたから廃止といったことはありません。ただ負担率が高くなってくると、市として見直しを検討せざるを得ないと考えております。

会長：三重交通の人材不足によって、これまで通りのサービスの維持は難しいと感じましたが、その辺り今後どのように考えればいいですか。

委員：1,2本削ったところで運転手不足が解消されるかと言われますとそうではないので、うまく調整しながら利用者にとって良い時間を選定していくべきと考えております。運転手不足はかなり深刻であり、一般路線はほとんど赤字です。コミュニティバス、地域間幹線、廃止代替などでご支援いただいている状況ですので、引き続きこのような形でいろんな施策を取り組んでいただければと思います。

会長：それでは採決させていただきます。「令和7年度の取り組みについて」に承認いただける方は挙手をお願いします。

(全員賛成)

(3) 飯南地区再編事業について

(事務局：資料8について説明)

委員：ほほえみバスに乗ったことがなく、近所に乗っている方もいないので、利用されているのは決まった方だと思います。一人暮らしの方は地域の方や家族に乗せてもらい移動されている方が多いと思うので、公共交通があることは知っているけど実際は利用していないのが現状です。飯南地区はデマンド型に変わるという話をしても、それでも自分の家までは来てくれない、今までと一緒だと言われます。頼める人がいる限りは頼って、それができなくなったときに本気になって考えるのかなと思います。波瀬に住んでいる方が宮前まで向かうと500円かかり、誰かに乗せてもらった方が安く済むと言っていました。かはだも周知不足で利用者が少ないという話ですので、実際私たちも乗ってみて口コミで広めていくことが大事だと考えています。

会長：ほほえみ廃止に対して反対ではないということですね。かはだが家の近くには来ないということですが、その点についてはいかがですか。

事務局：ドアツードアで運ぶというのはタクシーのサービスになってしまい、公共交通で利便性が高いものを入れるというのは不公平感を生むものになってしまいます。かはだは飯高地区内に250か所停留所を設けており、ゴミ集積所をすべて網羅しておりますので、ほほみなさんの自宅の近くに停留所があるのではないかと思います。運賃ですが、高齢者は割引制度を設けておまして半額になります。山間部はご家族や友人の方が運転手になることが多いのですが、事故を起こした時の責任や保証もあり、その方々が負担と感じているのも事実です。公共交通が不便なのは事実ですが、地域の中で残していけないといけないものになりますので、ぜひ守るという意味で乗っていただき、残すという考え方も大事だと思います。

会長：ほほえみが曜日別運行で使い勝手が悪いので、これからデマンド交通が導入したら利便性が高まるのではと思います。停留所の設置場所は決まっていますか。

事務局：設計段階ですが、飯高に近い数の停留所を設定させていただこうと考えています。

会長：家の近くに設置していただけますか。

事務局：500メートル歩かない位置には設定させていただくことになると思います。

委員：同じ位置に3つ停留所があるところもありますので、もっと数を集約してなかなか歩けない方の近くに停留所を置いてあげるのも一つの手だと思います。コミュニティバスの定期券を作って乗り放題にするという方法もありますので、そういうことも考えながら運賃も設計していただきたいと思います。

事務局：かはだの再編に向けて、飯高地区内の停留所の移動のご意見も賜りたいと思います。定期券は現在市のコミュニティバスで利用できるものが月5,000円で販売しています。しかしかはだにおきましては高齢者割引がございまして、毎日ご利用される若い方であればお得かもしれませんが、主にご利用いただいている高齢者の方は割引制度で利用していただく方がよりお得です。

委員：スクールバスと書いてありますが、これは一般の方も利用できますか。

事務局：スクールバスは飯高地区の話です。飯高地区ではデマンド交通と地域の小中学生のスクールバスの運行も同時に委託していますので、時間割ではこのように運行しています。飯南地区においてはスクールバスの運行は別で整理しています。スクールバスには小中学生しか乗れません。

会長：今日の議題の中で了承していただきたいのが、ほほえみを廃止して、かはだのエリアを伸ばすという案です。エリアを広げることについては特にご意見なさそうです。運賃は現段階での想定ということによろしいですか。

事務局：事務局の案として今のかはだの考え方を踏襲してこのように示しておりますが、今後地域の方で運行協議会を開いてもう少し詳細に協議して、のちにこの協議会にも図らせていただきたいと思えます。

会長：高齢者割引も飯高と同様になりますか。

事務局：それも含めて協議していきます。

会長：それでは採決させていただきます。今日の採決の内容としては、ほほえみを廃止し、かはだの運行エリアを飯南、大石まで広げるということです。「飯南地区再編事業について」に承認いただける方は挙手をお願いします。

(18/19 賛成)

会長：あと、かはだを夕方までやった方がいいかということですが、今の案ではデマンド交通の運行が2時までとなっています。このことについてはいかがですか。

事務局：現在デマンド交通の運行時間は9時から2時となっており、これはスクールバスの運行のためです。飯南に導入するにあたっては制約がないため可能ですが、飯高からの拡大ですのどの間で調整できるかを今後検討したいと思っています。地域の方からは2時に終了してしまうと、お出かけして帰ってこれないということで、2時では早いという意見をいただいております。

会長：ニーズがあるかないかということなので、また地域で協議いただいて次回11月に再度協議させていただくということをお願いします。

(4) 夏休み松阪市営バスフリーライドキャンペーンについて

(事務局：資料9について説明)

委員：降りる前に学校名を伝えるということですが、中学生か高校生か見分けがつかないので、学校の方にはきちんと情報を伝えていただきたいと思います。

事務局：このキャンペーンの周知ですが、広報や行政チャンネルのほかに、小中学生に直接、学校で配布されている学習用のタブレットに配信させていただく予定です。また学校の方にもご協力をお願いする予定です。

委員：市外の小中学生も無料ですか。

事務局：市外の方も利用できます。

委員：小学1, 2年の子が一人で行けるのか不安です。親と一緒に乗ると運賃がかかってしまうのですか。

事務局：チラシにも小学生の方は保護者と一緒に乗りましょうと記載させていただいております。低学年のお子様は一人でバスに乗って帰ってこれないということも心配されますので、このような案内をさせていただいております。このキャンペーンはお子様にバスに乗る機会を作って、将来的にも利用してもらうことを目的としておりますので、保護者の方には通常のご負担をお願いします。

委員：飯南の子どもが利用するとなると、ほほえみバスになるかと思いますが、図書館やプールを利用したくても飯南地区内にはないので、市街地まで向かわなければいけません。

事務局：三重交道路線バスを使ってもらって地区外に出るという機会も作れればと思います。今回は市営バスが対象ですので、市街地までは路線バスで来ていただいて、市街地からは鈴の音バスなどで回っていただけたらと思います。

委員：PRの時にどんなところに無料で行けるのかを併せて告知していただけたらと思います。時刻表や行ける施設一覧も一緒にタブレット配信してもらえたらと思います。あと、市営バスが未就学児無料ということを知りました。運賃のことがわかりづらいので、バス車内を見直していただきたいです。未就学児が無料と分かれば乗るお母さんも増えると思います。

事務局：詳細は7月の広報の特集記事で掲載させていただきます。その中で行ける施設の説明もありますので、併せてご覧いただければと思います。それから運賃のご案内ですが、車内には小学生100円と中学生以上200円のご案内しておりましたが、未就学児については記載がなかったかと思います。そこも課題ということで検討させていただきます。

委員：小学生は保護者と一緒に乗るということですが、高学年も必ず一緒に乗らなければいけないですか。

事務局：安全を考慮して各自のご判断になります。

会長：中学生か高校生かわからないこともあるかと思いますが、どう対応したらよいですか。

事務局：学校名を言った方を無料にするというルールですので、伝えずに降りようとする方には通常のご案内が良いと思います。

会長：利用者数としてカウントされますか。無料の学生とそうでない方で区別をつけて集計しますか。

事務局：はい。分けてカウントします。

委員：運転手がカウントしないといけないということですか。

委員：今は普通、障害者手帳、免許返納者、乗り継ぎという分け方でカウントしていますが、子どもという欄がないです。どこにカウントしたらいいか迷うと思います。

事務局：子どもという欄は今までありませんでしたので、今回新たに創出します。夏休みの期間は学校名を伝えていただいた方だけ集計させていただきたいです。

委員：学校名まで運転手が控えないといけないですか。

事務局：学校名の調査はしません。

委員：対象路線に一部フィーダー系統補助金の路線が入っているかと思いますが、運賃を取らないということなので、その分補助額が減ることになります。

事務局：運行経費の半分がフィーダーの上限金額だと想定していますが、運行経費の金額が既に 3000 万以上かかっているのです、今いただいている 1700 万の額であれば運賃を削ったことの影響は出ないと考えています。

委員：松阪市の現在の適用上ではおっしゃる通り補助以上の額を使われています。交付申請の段階で正確な数字は計算されますが、その時に確認をお願いします。

会長：報告事項なので、採決は取らずこれで終わります。

(5) 松阪駅前デジタルサイネージの設置について

(事務局：資料 10 について説明)

委員：日本語表記だけですか。

事務局：英語、中国語、韓国語表記もあります。

委員：設置してからの情報入力などは三重交通に任せるとのことですか。

事務局：協力してやっていきたいと考えています。サイネージの中にネット回線を通しますので、そこにオンラインでアクセスして随時変えていくことになります。

会長：10 年くらいはもちますか。

事務局：対応年数はもう少し長いものと考えています。参考としまして、県内では伊勢市や鳥羽市では既に設置しております。

会長：サイネージ内の情報はスマホからも確認できますか。

事務局：運行情報に関してはバスロケーションサービスで確認できます。

委員：サイネージの裏は何もないということで良かったですか。わき見運転などになってしまうと危険だと思いました。

事務局：裏面は画面なしです。

会長：ロケーションはわかりますか。

事務局：バス到着まで残り何分です、といった表示が出るものと思います。

会長：報告事項なので、採決は取らずこれで終わります。

(6) 松阪市公共交通支援出資事業について

(事務局：資料 11 について説明)

会長：市として何か得られるものはありますか。

事務局：これまでも JR、近鉄への地元からの要望を展開することはあり、今後も変わらないと思っております。また株を取得することによって、株主になり、一定数の株を持つと提案権を得るということで、株主という立場で意見していきたいと考えています。

会長：報告事項なので、採決は取らずこれで終わります。